

【日 時】令和2年11月26日（木） 19：00～20：25

【場 所】小松川第二中学校夜間学級仮設校舎 1階会議室

【主な内容】

1 制服の変更時期について

- ・変更時期の案としてA・B・Cの3つのパターンを提示。
A：令和4年度新入生より変更することで、令和6年度に新制服に統一するパターン
B：令和5年度新入生より変更し、令和7年度に統一する段階的な移行のパターン
C：一斉切替で令和5年度在校生を一斉に変更するパターン

2 学用品について

- ・今後の「体育着」、「通学靴」、「上履き」の変更にあってスケジュール等、事務局より資料提示。

3 P T A部会での検討事項について

- ・統合にあたり、「P T A部会」で話し合いなどが想定される主な検討事項を参考に提示。

【主な意見と回答】

- ・費用負担の話がないと選びようがないが、費用負担について検討の進展はあるか。
費用負担については本日の会でお答えすることは難しい。現状での皆様の考えを聞かせていただきたい。
〔事務局〕
- ・3年生は次の春にまた高校の制服を買わなければならないとなると家庭の負担が厳しい。
区では必ず負担しているわけではない。23区の半分程度が制服の費用負担をしており、自治体によって違いがある。〔事務局〕
- ・当初は費用負担しない予定だったが、途中で費用負担ができるようになった場合はB案からC案に途中で切り替えられるのか。
途中での発注数増加について、制服業者や生地がそれに対応可能であればスケジュール的には可能である。〔事務局〕
- ・一中の立場からすると、三中の制服をどのように着こなしているのかわからないので、指導上で公平性が保てなくなるのではないか。
- ・統合時に体育着の費用負担をしないのであれば、互いの校名が入った体育着が混ざるのは良くないと思うので、今の段階で校名や名前を付けないような対応をしたほうがよいのではないか。
- ・小学5・6年生には制服の変更について周知を行い、費用負担については現時点では確定していない旨を早急に伝えたほうがよい。

- ・制服リサイクルを行っている一方で、今の3年生の制服を次の新入生に渡すと販売店の在庫整理ができないという矛盾も生じる。制服リサイクルは保護者の負担が減るのでいいことだと思いつつも、販売店への負担の兼ね合いも考えなければならない。
ある程度の在庫整理期間を設ける必要があると考える。その上で販売店を変えてしまうのはやむを得ないと思う。制服リサイクルを併用することも方法の一つだと思う。〔事務局〕
- ・リサイクルは確かに名案だと思うが、実際に行ってみたらもらえるようなものがなかった。本当に使える制服は少ないと思う。
- ・B案とすると、制服が混在する期間は2年間である。確かに、一中と三中で校則等細かいところに差異があるが、デザインも女子生徒が多少違うだけで大きな違いはない。また、先生が変われば指導も変わるので、両校で擦り合わせをすればうまくいくと思う。A案では5・6年生ともに1年間は混在期間が出るが、その中で新しい学校を作っていくという指導のなかで乗り切れると思う。A案だとしたら時間的余裕がないので早く進めたほうがいい。
- ・C案は保護者にとっても旧制服を1~2年しか着ないことに納得はいかない。一方で、A案とB案は1回購入した制服を3年間着られる。幸い似たような制服であるので、混在期間中は、両校で擦り合わせをしながら生活指導すればよい。個人的にはB案であれば新校舎と共に1年生が新しい制服を着ることができるので、区切りが良いと感じる。
- ・制服変更の際は、学校評議員などの学校関係者に統合やLGBT etc など考えて制服の変更を行うことに関してアンケートを取るべきである。
アンケートを実施するなら記載する項目をある程度決めて、早めに動かなければならない。〔事務局〕
- ・機能性や多様性を考えてブレザーにしていく予定であり、そのことについて意見があるか書いてもらうアンケートをイメージしている。
- ・アンケートの対象者はどう考えているか。
あまり範囲を広げてもよくないので、今実際に制服を着ている子どもたちが良いのではないか。
- ・アンケートするとしたらどの程度時間がかかるか。
内容や対象者にもよるので具体的な期間は言えないが、可能な限り早く実施するべきだと考えている。
〔事務局〕
- ・販売店への制服変更のお知らせは早めにすべきである。
- ・PTA 部会はこちらで進めてしまってよいのか。
基本的にはPTA 部会はPTA が主体で進めてほしいが、欲しい情報や事例などがあればオブザーバーとして参加し、情報提供させていただく。〔事務局〕

- ・ 体育着は消耗品なので高価で卒業後も着られるものより、3年間しか着られないけど安価なものがよい。個人情報を特定するような刺繍は、このご時世に入れる必要はないかと思う。また、リサイクルも考えれば個人名はいらない。上履きについては、一中か三中どちらかのデザインを使って色を統一していく方が早いのではないか。再来年に統一できるように上履きは早めに決定できるのではないか。
- ・ 特別支援学級の子どもたちは紐靴だと難しい。マジックテープがあるとありがたい。
- ・ デザインは一緒である必要があるのか。色さえ一緒であればいいのではないか。他自治体の例では、白を基調とした靴であればよくて、学年カラーは靴紐で合わせている。〔事務局〕
- ・ 夜間中学は昼間部の色と異なる色で上履きを導入する予定である。〔事務局〕
- ・ 通学靴はリュックになるのか。両手があく、宿泊学習に使えることもあって、リュックが主流になっている。〔事務局〕
- ・ 学校指定の通学靴の方が指導する側としてはいいのか。以前いた学校では、機能性や耐久性、生徒の健康面（ショルダertypeは背骨に負担がかかる）を考えてリュックタイプに変更してほしいという意見が多数あり、リュックを導入した。在校生は旧タイプとリュックタイプどちらを選んでよいようにして、新入生はリュックを指定した。混在時に困る事はなく、使いやすさからか少しずつリュックが主流になっていった。
- ・ 基調とする色を決めて、市販のバッグを使うことは指導上難しいか。許容範囲の線引きが難しい。

以上